

15 岐阜市立青山中学校

学 校 名	岐阜市立青山中学校 (校長 桑原 利光)
活動の種類・単位	健康安全
教育課程上の位置付け	教科(保健体育, 理科, 家庭科) 特別活動 その他

1 活動テーマ

自分の性と成長を肯定的に受け止め、夢や希望のもてる生徒の育成 ～幸せを生み出す性教育～

2 主な活動内容

- ・ 命について考える日(キックオフの会 4月実施 対象:全校)
- ・ 「かけがえのない生命 講話」(講師, 産婦人科医師 6月実施 対象:1年生)
- ・ 「つながる命…親子で見つめよう生と性 講話」(講師, 産婦人科医師 11月実施 対象:2年生)
- ・ 「性を豊かな人間関係の中に位置づけよう」(WHSH式指導 12月実施 対象:3年生)
- ・ 「健康教育」の時間実施(年間8回実施 対象:全校)

本校では、上記のような学習、活動を通してテーマの具現に向けて取り組んできた。その中の「つながるいのち…親子で見つめよう生と性 講話」(講師, 産婦人科医師 11月実施 対象:2年生)は、次のように実施した。

○指導のねらい

- ・ 家族の妊娠・出産体験を通して、自分の生命の尊さを感じ、自分や家族を大切に思うことができる。
- ・ 思春期の自分に起こる体や心の変化、またその男女の違いについて正しく理解し、男女の望ましい人間関係について考えることができる。

○性と命の学習当日までの流れ

9月下旬	・ 2年生に事前アンケート
10月中旬	・ 2年生保護者に妊娠・出産体験記入用紙配布 (全員提出ではなく、ご協力いただける方に提出していただく)
11月上旬	2年生保護者に案内配布(親子で話を聞くため)
11月中旬	講師と打ち合わせ(森)岐阜大学医学部にて

○当日の展開、内容

内容については、保護者から寄せられた妊娠・出産体験、アンケート結果による生徒の実態を踏まえて養護教諭と産婦人科医師 杉山三知代先生とが構成した。当日は、杉山先生が「家族の妊娠・出産体験」から生命誕生の素晴らしさ、思春期を迎える一人一人が新しい命を作り出す存在となること(男女の意識の違い、思春期の心と体の特徴、10代の性の現状、性感染症、妊娠)についての講話をいただいた。



▲ 人形での抱っこ体験

○生徒の感想

僕はへその緒が首に巻き付いてしまい危険な状態だったので、帝王切開で生まれてきたと知りました。無事に産んでくれたこと、親に感謝すべきだと思いました(以下略)。

子供たちに付いた力	思春期の自分に起こる体や心の変化、またその男女の違いについての理解を深めるとともに男女の望ましい人間関係について考えることができた。
効果	自分の生命の尊さを感じ、自分や家族を大切に思う意識や言動が見られるようになった。
今後の方向	3年次にWHSH式指導で行う「性を豊かな人間関係の中に位置づけよう」につながるよう生徒の意識、実態把握に努めていく。